

平成 24 年度国有林モニター会議（佐賀）概要

平成 24 年 11 月 17 日（土曜日）に、国有林モニター会議を実施しました。

- 開催概要

日時：平成 24 年 11 月 17 日（土曜日）10 時 30 分～15 時 40 分

開催場所：佐賀県唐津市

出席者：国有林モニター15名 他 国有林職員ら

会議内容：1. 佐賀森林管理署の取組紹介

2. 虹の松原国有林の保全管理の取組紹介・現地視察

3. 質疑応答・意見交換会

1. 佐賀森林管理署の取組紹介

見学箇所：鏡山西展望台

最初に、鏡山から虹の松原を遠望し、全体像を把握すると共に、開会、自己紹介を行い、モニター会議の幕開けとなりました。続けて、虹の松原の保全再生に向けた取組、管理などの佐賀森林管理署の概要を説明しました。

当日は雨模様となってしまいましたが、虹の松原の景観に参加者からは歓声が上がりました。



大倉佐賀森林管理署長挨拶



虹の松原におけるマツクイムシ防除の取組等の説明



鏡山西展望台から見た虹の松原

2. 虹の松原国有林の保全管理の取組紹介・現地視察

見学箇所：虹の松原国有林

大小様々なクロマツが林立する中、地元地域の方々により補植されたクロマツや、海風を受けて林全体の幹が陸側に屈曲している様子、マツクイムシ被害の拡大を防ぐために伐倒（特別伐倒駆除）された切株や薬剤の樹幹注入の痕跡などの説明を受けながら、海岸まで林内を散策しました。



海風を受けて幹が屈曲した松林



集合写真（虹の松原海岸）

3. 質疑応答・意見交換会

見学箇所：浜玉公民館

九州森林管理局の取組を紹介し、今回のモニター会議を通しての質疑応答・意見交換会を行いました。見学した松原の今後の利用や管理のあり方、森林・林業の再生に向けた人材育成の必要性、バイオマス発電等新たな需要喚起などについて活発な発言がありました。

今回頂いた貴重な意見や感想は、今後の国有林野の管理経営に活かしてまいります。



限られた時間ではありましたが、活発な意見交換となりました。